

チームで取り組む医療・介護の安全 Part.2

患者さん・利用者さんと一緒にできること



2018年同仁会グループ 医療介護安全大会

7月14日(土) 堺市立西区文化会館にて、2018年医療介護安全大会「チームで取り組む医療・介護の安全Part.2」患者さん・利用者さんと一緒にできること」が開催されました。友の会会員も含めて約400人の参加で、大いに学びあいました。

開会にあたり、河原林実行委員長より医療安全活動のまとめを、感染管理認定看護師原之園さんより感染制御室活動のまとめが報告されました。

指定報告では、健康友の会みみはらの活動と耳原総合病院医療安全管理室より「患者・家族と一緒に医療安全をすすめる」と題した報告がありました。



大阪市立大学医学部附属病院 医療安全管理部の山口悦子先生

事者とは違った「もう一組の眼」で気づいたことを医療者に伝えてほしいと訴えられました。

講演では、大阪市立大学医学部附属病院医療安全管理部の山口悦子先生に「安全文化を創ろう」というテーマで話していただきました。

医療現場での、スタッフ間のコミュニケーションの相違がどうして起きるのか。私の常識は他人の非常識であること。当たり前と思

っている感覚がヒューマンエラーを引き起こしてしまう原因であること。スタッフ間での伝達方法としてSBAR(SII状況を説明する、BII背景を説明する、AII自分の考えを述べる、RII相手に何をしてほしいか伝える)を活用することを解説していただきました。また、患者・利用者さんと医療者のコミュニケーションを良くすることが安全につながり、そのためには違いを知り、認め合うことが大切であり、「医療現場では付度禁止」という先生の言葉が印象に残りました。

講演の合い間には、参加者同士で話し合う場面も盛り込まれ、長所と短所は表裏一体であることを体感し、欠点をカバーしあえる職場こそが安全であると話されました。

参加者の感想

・知識のない人の立場から安全をみることは、医療従事者とは別の視点が生まれます。
・友の会の関わりがよくわかりました。
・とてもわかりやすい講演で楽しく学んだ。
(医療介護安全大会実行委員 岸上 耕平)

当日のプログラム

実行委員長あいさつと
2017年度医療介護安全の取り組み
耳原総合病院医療安全管理室
室長 河原林 正敏

耳原総合病院 感染制御室
2017年度活動のまとめ
耳原総合病院感染制御室
感染管理認定看護師 原之園 美希

指定報告

- ①同仁会健康づくり委員会の活動報告
健康友の会みみはら 石田 悦司
- ②耳原高石診療所安全ラウンドの取り組み
友の会高石支部 鞍田 康子
- ③患者・家族と一緒に医療安全をすすめる
耳原総合病院医療安全管理室
医療安全管理者 大田 雄介

記念講演

安全文化を創ろう
～コミュニケーションを見直そう～
大阪市立大学医学部附属病院
医療安全管理部 山口 悦子先生

閉会あいさつ

社会医療法人同仁会
理事長 齊藤 和則

こんにちは！ 同仁会グループ 事業所だより

Instagram始めました



(栄養管理科
技師長 堀内 聡子)

6月には緩和ケア病棟で、お好み焼きのイベントを開催しました。奥村病院長自らコメントをいただきました。おいしくない病院給食のイメージを払拭させたい思いが詰まっています。一度ぜひご覧ください。

大阪の民医連各事業所と合同で、病院給食を紹介するInstagramを立ち上げました。おいしくない病院給食のイメージを払拭させたい思いが詰まっています。一度ぜひご覧ください。

直営だからこそ、これまで同様、直営(病院)の職員が給食業務を行っています(で安心安全な給食を守ることを日々続けています。直営だからできること...ベッド訪問や各種教室にも調理師が参加していますが、病棟でのイベントに調理師が参加し、患者さんとの交流に力を入れています。

当科は「昨年、栄養科・食養科が統一され、栄養部門全体を管理していく、栄養管理科として生まれ変わりました。最初は「見るだけ。食べられへん」とベッド上で参加していた患者さんも「ちよっともらおうかな」と。最後にはきれいに食べられて「おいしかったわ」という声が聞けました。

入院中は、体力や気分も落ち、なかなか思うように食事が進まない方も多いですが、何かのきっかけで食欲が戻ることもあります。そのきっかけの一つになれば嬉しいなと思っています。

「直営」だからこそ



緩和ケア病棟でのお好み焼きイベント

〒590-8505
堺市堺区協和町4丁465
TEL 072-241-0501(代)
FAX 072-244-3577